ベルマーク新聞 6月号

発行　公益財団法人 ベルマーク教育助成財団　東京都中央区築地5-4-18　汐留イーストサイドビル7階　〒104-0045　電話 03-5148-7255（代表）
郵便振替口座 00100-7-56035　ホームページ https://www.bellmark.or.jp/

小4、休校中に家族で「自由研究」

ベルマークについて調べ、仕分けて財団に寄贈

「東日本大しんさいでひさいされた小学校のみな様へ」

兵庫県に住む小学4年の健斗さんからベルマーク財団に寄贈マークが届きました。新型コロナウイルスの影響で休校が続く中、母が長年集めていたベルマークに着目し、自由研究として、家族と一緒に取り組みました。

健斗さんの小学校は3月上旬から臨時休校になりました。「さあ、どうしようか」。母の裕子さんと家での過ごし方を話し合っていた時のことです。健斗さんは、裕子さんに言いました。「ベルマーク集めていたやんか。マークいっぱいあるよな」。

裕子さんは、これまでおよそ20年間ベルマークを集め続けていました。マークを見れば切り取る習慣が付いており、小さくて可愛らしいお気に入りの箱は、ベルマークで満杯でした。このマークを仕分け・集計し、運動の歴史や仕組みも調べて、自由研究としてまとめることにしました。

作業には姉の杏奈さん（小学5年）も加わりました。親子3人でこたつ机を囲んで、牛乳パックなどを利用して作業しました。裕子さんは財団のホームページから個人でもマーク寄贈ができると知り、財団にも電話で確認しました。3月に震災を振り返るテレビ番組を見て、津波の恐ろしさを痛感した健斗さんは、マークを東日本大震災の被災校に贈りたいと提案しました。

1仕上がった作品と一緒に
2マークを仕分ける健斗さん
3姉の杏奈さんも加わり作業
4杏奈さん作、四つ葉のクローバーの押し花と折り紙の「アマビエ」

慣れない仕分け・集計の作業は「大変でした」と裕子さん。でも仕分けていくうちに健斗さんは楽しく感じられるようにもなり、被災校に喜んでもらえたらと頑張って取り組んだそうです。

届いたマークは、チャック付きのビニール袋にきちんと小分けされ、会社名と点数も書いてありました。脱退会社を除いた合計は583.3点。テトラパックの空き容器も同封されていました。裕子さんはテトラパックがベルマークの対象であることを、今回調べて初めて知ったそうです。

健斗さんは休校中、家での時間割を決めて生活していました。午前は学校の課題や予習・復習、午後は読書や掃除の手伝いなど。「学校に行って友達に会いたい。自分の好きな本を読む時間ができたのはうれしいけれど、早くコロナに効く薬ができてほしいと願いながら毎日を過ごしています」と話します。

仕上がった自由研究は、大きな模造紙に、調べたことをイラストや図表、写真などを使って分かりやすくまとめてあります。そのタイトルは「みんなでおうえんしよう」。筆を使って力強く書き入れました。

「これからも親子で頑張ってマークを集めていきたいと思います」と裕子さん。健斗さんは「また誰かのために役に立ちたい」と、お菓子を食べた後に箱を一回転させて調べ、「マークがあるから捨てんとってな」と話しているそうです。

◇

5月になって健斗さんから新たなお便りが届きました。「マークは袋の表側に付けると分かりやすく、端っこにあると切り取りやすい」など、収集を増やすための提案をまとめたものです。四つ葉のクローバーと、折り紙で作った「アマビエ」（病気から人を守る妖怪）も同封されていました。

世界の子どもへ「友愛援助」の手を

ベルマーク預金から直接寄付する仕組みです

2020年度の「友愛援助」を募集しています。ベルマーク預金を直接寄付にあて、活動実績のある団体を通して世界の子どもたちに支援を届ける仕組みです。受付は2021年1月末まで。東日本大震災被災校への支援も引き続き実施中で、こちらは締切はありません。財団HPにある申込用紙に所定事項を書き込んでお送りください。2020年度は以下の9事業です。＜＞は実施する団体名。

①東日本大震災援助事業
②アフガニスタンの子どもたちへの保健教育活動＜ジョイセフ＞
③ラオスでの学校図書室整備プロジェクト＜ラオスのこども＞

④スリランカの子どもたちの植林・環境教育支援「子供の森」計画＜オイスカ＞
⑤東ティモールの子どもたちの健康を守るための予防接種・保健教育支援＜シェア＝国際保健協力市民の会＞
⑥ミャンマー（ビルマ）難民キャンプにおけるコミュニティ図書館を通じた教育支援事業＜シャンティ国際ボランティア会＞
⑦アフガニスタン寺子屋プロジェクト＜日本ユネスコ協会連盟＞
⑧シエラレオネ共和国における学校給食プログラム＜国連世界食糧計画ＷＦＰ協会＞
⑨ブルキナファソで「子どもにやさしい学校」モデル事業＜日本ユニセフ協会＞

ベルマーク便り作品を募集中

今年度もベルマーク便りコンクールを開催しています。応募するだけで、少なくとも参加賞の図書カードがもらえる「お得」な企画です。マーク収集を呼びかけるお知らせや、活動を報告する広報紙、新聞などをお送りください。プリントやポスター、冊子といった形式や、カラー白黒は問いません。過去1年以内（2019年10月1日～2020年9月30日）に作成したお便りが対象です。締切は9月30日、消印有効。優秀賞（10点）には3万円と副賞、佳作と特別賞（計10点程度）には1万円と額入り表彰状を贈呈します。他の学校には参加賞として2000円の図書カードを差し上げます。